

えぐね

「えぐね」は、日本三大散居村の地、胆沢扇状地の屋敷の北西側に木を森のように植えて、冬の季節風から屋敷を守る防風林です。快適な住環境を形づくり、日本の原風景を代表する景観を生み出しています。本校が胆沢の地や人々にとってなくてはならない「えぐね」のような存在であり続けたいと願い、校報の名前にしています。

県中総体での健闘

7月15日から18日にかけて岩手県中学校総合体育大会が開催されました。

胆沢中学校からは、軟式野球、ソフトテニス男子（個人・団体）、ソフトテニス女子（個人・団体）、バレーボール女子、卓球女子個人、剣道男子個人、剣道女子（団体・個人）、水泳競技、陸上競技に選手が出場しました。

県内各地の会場で、練習の成果を発揮する精一杯のプレーがたくさんありました。軟式野球ベスト8、剣道女子団体ベスト8という素晴らしい結果を含め、選手のみなさんの健闘を称え、大きな拍手を贈り、喜びを分かち合いたいと思います。

入賞・表彰（おめでとうございます）

ソフトテニス競技

女子個人 1位 菅原望夢・渡邊侑莉組
5位 八島陽菜・氏家華鈴組

女子団体 3位

水泳競技

女子200m バタフライ 6位 村上倭乃
男子100m バタフライ 7位 阿部啓人

陸上競技

共通男子800m 7位 千葉心人
共通男子砲丸投 7位 佐々木那月

また、当日の悪天候、順延等もあった中、父母会並びに保護者の皆様の様々なご支援と心のこもった応援に感謝申し上げます。ありがとうございました。

ブックトーク

12～14日に藤井江里さんを講師に開催しました。今回は、「価値観」をテーマに様々なジャンルの本を紹介していただきました。

学年ごとの実施でしたが、本のあらすじ紹介や考えてほしい事柄、読み取ってほしいポイントについて伝えていただきました。紹介していただいたお話も、説話・物語・漫画・絵本など様々な形のものが含まれていました。お話を聞いて、私は『魔法にかかった世界じゅうのお金』を読みたいと思いました。



夏休みを利用して、学校の図書室や胆沢図書館にも足を運び、紹介された本に限らず、何冊かは本を手に取り、読書に親しむ時間を増やしてほしいものです。

1 学期を終えるにあたって

終業式では、次のようなことを話しました。

授業でも行われているように、振り返りをして次に向かうことはとても大切なことです。

過去を思い出したり、振り返りをするときにいくつか方法があります。時間の順番で思い出したり、起こった出来事ごとにまとめたり、自分の重要度やルーティーンとして行っている事柄別に分けるなどです。こうした分け方は他にも応用できます。私はパソコン内のフォルダを、時間順のフォルダと内容の項目ごとのフォルダ、今行っている仕事のフォルダに分けています。やることがはっきりして、進行管理がしやすくなっています。

明日から夏休みです。それぞれが立てた目標をめざし計画を実行することになります。時間の計画、出来事の計画、自分にとって重要なことの計画、やらなければならない事柄の計画などに分類して進めてみてはどうでしょうか。夏休み後の振り返りもよりよくできるようになると思います。

1 学期に積み上げた良さを 2 学期に引き継

ぐためにも夏休み期間の時間を上手に使ってほしいと思います。

学校閉庁日

奥州市教育委員会からの指示に基づき、8月12日から15日を学校閉庁とします。ご理解とご協力をお願いします。また、子どもたちの安全な生活（交通事故、病気・ケガ、SNS 利用、感染症）への声掛けもお願いします。

進路を考える その6

今回は、生き方や進路について保護者との程度話し合っているかという質問です。

調査8 保護者との話し合いの程度

・よく話し合っている	30.3%
・ときどき話し合っている	52.3%
・あまり話し合っていない	12.9%
・ほとんど話し合っていない	4.6%

よく、とときどきを合わせると 82.6% となります。私自身のことを思い返してみると、自分の子どもが中学生の時に、進路について話題にしたことはあまり（ほとんど）ありませんでした。進路希望調査を書く時に、少し話した程度だったと思います。何か別の時に意識的に話したこともありませんでした。

家族であればこそ、進路に関しては、自分が思ったことをその都度伝えておくことが大切だったと、今は思っています。